

科目名		授業形態	担当教員名	
体外循環装置学		講義	遠藤 宏和	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
人工心肺装置と心筋保護装置、補助循環装置の構成・手技について概説し、特に体外循環装置の原理・構成・構造について知識を深め、体外循環時における非生理的環境下での安全な操作法、保守・管理・事故事例とその対応について講義する。				
授業の到達目標				
人工心肺をはじめとする体外循環は専門知識がなければ安全に使用操作することは危険であり、その重要性を認識し、適切な管理法を習得する。				
授業計画				
回	内容			
1	体外循環について			
2	人工心肺の適応・原理・目的			
3	人工心肺装置（人工肺・血液ポンプ）			
4	人工心肺装置（関連装置）			
5	心筋保護（目的・種類）			
6	心筋保護（注入法）			
7	人工心肺の実際（開始前と患者管理）			
8	人工心肺の実際（非生理的環境下での管理）			
9	人工心肺の実際（生体内変動）			
10	人工心肺の実際（開始から離脱まで）			
11	人工心肺の実際（トラブル）			
12	補助循環装置（IABP）			
13	補助循環装置（PCPS・補助人工心臓）			
14	脳分離体外循環法・小児体外循環			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
臨床工学講座 生体機能代行装置学 体外循環装置 第2版	見目恭一		医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
臨床工学技士標準テキスト	小野哲章 他		金原出版	
自由記載				
備考				